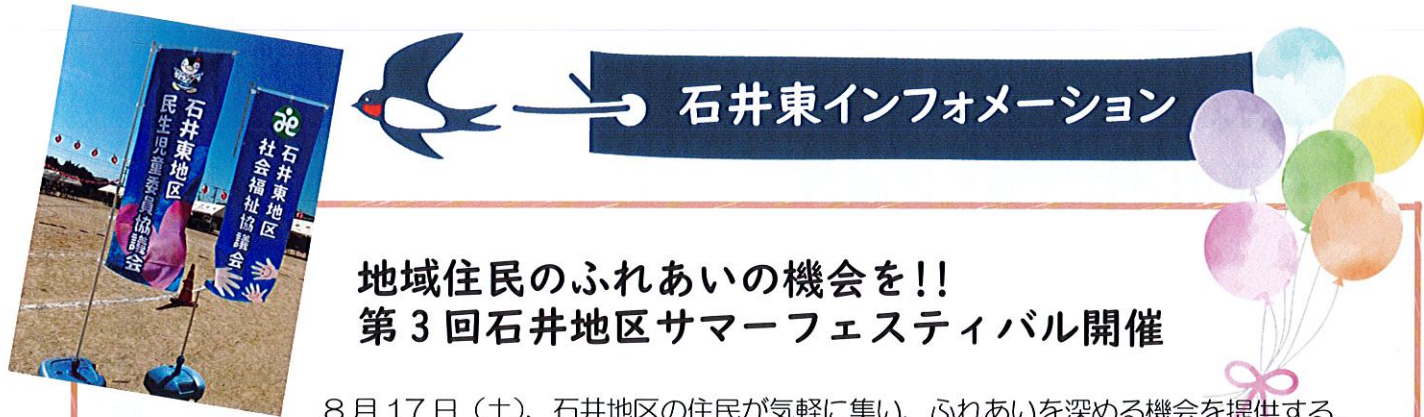




石井東インフォメーション

地域住民のふれあいの機会を!! 第3回石井地区サマーフェスティバル開催

8月17日(土)、石井地区の住民が気軽に集い、ふれあいを深める機会を提供する。また、各種団体が参加することで、今後の石井地区の活性化につなげる目的で開催されました。

台風が心配されましたが、暑い日差しの中16日は設置の準備や竹灯籠の準備に。当日はオープニングのバルーンリリースの担当、石井東民協・社協のブースでのお菓子付きゲームの担当、盆踊り参加、そしてお楽しみ抽選会担当と皆が分かかれてお手伝いしました。熱中症の心配もありましたが、お互いが助け合い、笑顔いっぱい楽しんでいる姿はこれからの活動の励みになりました。

お楽しみ抽選会は、そんな私達へのご褒美でしょうか??メンバーのうち二人も当選しました\(^o^)/



▲竹灯籠 幻想的できれい



▲小さい子どもさんにもできるゲームを



▲盆踊り大会 楽しめました



運行エリアが広がりました! チョイソコいしい運行中!!

チョイソコいしいは、運行エリアが石井西地区にも広がり、令和6年9月から石井地区にお住いの方は全町ご利用いただけます。運行日時は平日 9:00~12:00、13:00~16:00、病院や公民館活動、買い物にお食事などチョイソコを使ってお出かけしませんか?会員限定のお得なクーポン券もあります。

●チョイソコいしいについてのお問い合わせは
TEL 080-8815-3253



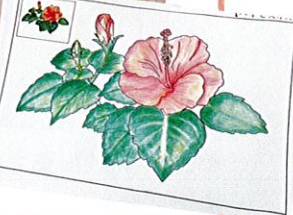
100歳の元気なおばあちゃん 脳トレサロンの人気者

黒田^{黒田}さんは大正13年^{黒田}生まれの満100歳。毎週火曜日に脳トレ・サロンに参加しています。子どもさんと同居していますが、1人で歩いて公民館に来ます。いつまでもお元気で!



▲ワーキングに参加

脳トレの塗り絵は
プロ級の腕前



10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。民生委員がお願いに回りますので、ご協力をお願いします。赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉活動に役立てられています。

石井東地区社協だより



社協ってなあに?

社会福祉協議会(通称 社協)は全国、都道府県、市区町村に組織され松山市では40の地区社協がそれぞれの地域で地域住民、社会福祉関係者等の参加・協力を得て活動をしています。

令和
6年度

松山市福祉大会「このまちのえがおプラン」策定

9月2日(月)松山市民会館 大ホールにて、松山市と松山市社会福祉協議会は、本年度からの5カ年計画として「第5期地域福祉計画・地域福祉活動推進計画~このまちのえがおプラン~」を協働し策定しました。その計画のもと、多年にわたり、地域福祉活動やボランティア活動等に功績のあった方々を表彰し謝意を表すとともに誰もが安心・安全に暮らすことができる地域社会の実現に向け関係者相互の理解と連携を深める事を目的に開催されました。



松山市長等の挨拶・表彰・謝辞や祝辞の後、「ことばのがっしょう」群読が済美平成中学教育学校放送部、みならミュージカルフレンズ、みんなだーいすきの皆さんによる発表がありました。発表の皆さん全員と会場にいる私達全員の歌は一つになれた瞬間でした。

◀ 第5期待機福祉計画・地域福祉活動推進計画「このまちのえがおプラン」



<被表彰者>

松山市社会福祉協議会会長表彰
ボランティア活動功労者 塩崎千恵子、安永律子
ボランティア活動功労団体 星岡なかよし子ども食堂

石井地区まちづくり協議会 福祉講座「女性の視点で考える防災」

7月19日(金)石井支所と石井地区各分館をオンラインでつなぎ、日本防災士会愛媛県支部長、女性と防災の会代表の小國恵子氏のお話を約150名の参加者と一緒に聞きました。

地震には津波と火災がつきものである。災害が起こり、避難所を運営するのはさまざまな課題がある。避難所の生活を日常生活に近づけることが健康の維持につながる。暮らしを守る生活者としての知識と経験は女性の方が多く、女性が関わることで避難所生活が改善する。

特に、食べることは我慢できても、排泄は待たなし。トイレ開設が一番に考えること。適切な場所に設置し、照明や防犯ブザーで安全を確保することなど、女性の視点で考える防災の有意義な話を聞くことができた講座でした。



▲女性の視点が大切

知っていますか？ 私たちが暮らす「石井東」ってどんな町？ 石井東の地域カルテ

来年度の総会で第5期地域福祉活動計画を皆さんにお知らせします。そのため9月10日（火）石井東地区社会福祉協議会理事が集まり、策定計画を話し合いました。策定に当たって、石井東の地域カルテを見直すことから始めました。



【地区の特色】

石井東地区は、市街地に近く天山・東山などの緑や温泉などの自然環境にも恵まれ、星岡古戦場・縦緑城跡など多くの史跡、文化財が残っており、肥沃広大な耕地をもとに穀倉地帯として発展してきた。また、毎年旧暦の正月七・八・九日の三日間に渡って行われる椿祭りでは、伊予豆比古命神社に多数の参拝客らが訪れる。近年では急速に市街化が進み、人口約3万人を数え、市内で最も発展を遂げている。



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	●人口が多い(約3万人)・地域福祉サービス事業の活動が充実している ●協力会員約460名、民生委員・児童委員の連携が取れ活動が活発 ●地区内各団体との連携が取れている ●社会資源として、すべての面で恵まれている(介護事業所、南警察署、南消防署等) ●住民の活動が活発である・高齢クラブがほぼすべての町にある ●生活関連産業もたくさんある・交通の便がよい・松山インターチェンジがある ●稼働年齢層が多い・サロン17ヶ所、子育て支援センター2ヶ所で活動が盛ん ●各集会所にインターネット環境が整備されている
地区の弱み	●災害時に避難する場所が少ない(約3万人が小学校2校、中学校1校のみ) ●川幅が狭いため、大雨時、氾濫の恐れがある ●人口に対して公園、スポーツ施設が少ない・人口に対して支所、公民館が狭い ●支所、公民館への交通手段が不便 ●将来的にヘルパーさんが関わる時間が短いと困る高齢者が増えるのではない ●交通渋滞が起きやすい・道が細く溝が多い箇所がある ●集会所の老朽化問題
地域が抱える福祉課題	●人口約3万人に対して、高齢者が多い ●労働人口が多いので、支える側の絶対数が少ない ●人口に対して公民館、支所、その駐車場が少ない ●人口に対して避難場所が少ない ●交通の不便(一部の地域においては相乗りサービス「チョイソコいいい」の運行を実施) ●川幅が狭い為大雨時、氾濫の恐れがある・高速道路陸橋下の空き地の活用

石井東地区社会福祉協議会 安心を笑顔で支える「人つなぎ夢つむぎ」

＜拠点＞ 松山市居相1丁目8-26 石井支所2

TEL/FAX 089-904-4874

構成団体	地区民協・公民館・まちづくり協議会・町内会・総代会・高齢クラブ連合会		
主な取り組み		活動内容	
福祉だよりの発行		「夢つむぎ」として年3回12,000部を作成し、全戸配布。地域福祉に関する情報を発信しています。	
地域の集いの場	IMAカフェ 居相ふれあい農園 星くるま	・月に1回日曜日に開催、地域で採れた野菜やコーヒーなどの提供 ・誰もが気軽に集える場として、毎週日曜日に野菜を育てています ・独り暮らしの高齢者へのお弁当作成及び配布による見守り	
避難行動要支援者名簿作成		災害時等の避難誘導の際に活用出来るよう、世帯別状況を色分けし、毎年更新して名簿からMAPを作成します。	

福祉交流会(10月頃)

地域の独居高齢者と障がいのある「おふくの会」の方約200名との交流会を開いています。手作りのちらし寿司を用意して、民生委員・児童委員、みまもり員による工夫を凝らした演芸を披露しています。また、参加者全員に配布される絵手紙を毎年楽しみに集めています。また、参加者全員に配布される絵手紙を毎年楽しみに集めています。



＜地区社協が目指すもの＞

安心を笑顔で支える「人つなぎ、夢つむぎ」のコンセプトのもと、地域住民が主体となって互いに支え合う小地域福祉活動の推進に努めます。地区内には65才以上の高齢者の内、約4割3,500人(障がいのある人を含む)の災害時要支援者があり、今後増え続ける要支援者を支える、支え合える「住民力」「地域力」の育成をめざします。超高齢社会の中で共生社会実現のためには向こう三軒両隣の顔の見える関係づくりが必要であり、一人ひとりが支えてこそ意義がある事を啓発すると共に地域に密着した福祉活動を推進していきます。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	21団体
	民生委員	43名	■高齢クラブ	16クラブ
	主任児童委員	3名	■子ども会	10団体
	■まち協の設立	平成23年度	■自主防災組織	19組織

地区の特徴としては、市街地化していることです。そのため、福祉交流会や地域の通いの場(IMAカフェ、居相ふれあい農園、星くるまなど)多様な地域福祉活動が行われています。また、地区社協協力会員が多く、向こう三軒両隣の顔の見える関係性構築を推進することにより、支え合う小地域活動が展開されています。この活動を通して、災害時要支援者名簿策定や名簿の「見える化」としてのMAP作りなど災害への備えにも取り組んでいます。これからの活動を通し顔の見える関係構築により、地域福祉活動がより活発に行われることが期待できる地域だといえるでしょう。

ココがポイント

